

小中学校学習系ネットワークの強化について

小中学校学習系ネットワークの強化を行うため、情報通信環境の再構築について次のとおり報告する。

1 事業目的

新型コロナウイルス感染症流行の収束が見通せない中、小中学校における授業のオンライン配信環境を整えることが急務となっている。現在の学校のインターネット接続環境は、各学級から同時に検索や配信を行うことができない状況である。このような状況を解消するため、中野区教育の情報化推進計画において、令和4年度中に実施を予定していた小中学校学習系ネットワークの再構築を、今年度以前倒して実施するとともに、再構築が完了するまでの一時的な対応として、配信用機器を調達することを目的とする。

2 事業内容

(1) 学習系ネットワークの再構築

① インターネット接続方式の変更

現行は、学校から区役所を経由して区指定のデータセンターに集約され、そこからインターネットに接続する「センター集約式」であるが、これを各校から直接インターネットに接続する「ローカルブレイクアウト方式」へ再構築する。

② 高速大容量光回線の敷設

インターネット接続を高速大容量化するため、各校からインターネットに接続する回線は、10Gbps のベストエフォート光回線を敷設する。

(2) 再構築完了までの対応

① モバイルルーターの調達

学習系ネットワークの再構築が終わるまでの間は、モバイルルーターを小中学校の全学級分の460台をレンタルで導入し、学習系ネットワークの負担軽減を図るとともに授業のオンライン配信等に対応する。

② 配信用端末の調達

授業配信のためには配信用端末が必要であり、モバイルルーターと同数レンタルにより調達する。

3 事業期間

令和3年11月から令和4年3月まで

4 今後のスケジュール(予定)

令和3年10月 契約

11月 モバイルルーター・配信用端末の納品完了、ネットワーク再構築開始

令和4年3月末 ネットワークの再構築完了